



千葉を美しくする会

ご挨拶



皆様、こんにちは。いつも当NPO法人の活動にご協力を賜り誠に有難う御座います。

さて、令和二年の半年を振り返るに、新年早々は意気揚々と活動を開始したものの、二月に入って中国武漢より発生した新型コロナウイルスによる感染症で、にわかに世の中が騒々しくなりました。そして、今や全世界中に蔓延の様相で、正に第三次世界大戦の感じさえいたします。未だ治療薬、ワクチンも開発されておらず、第二次、三次感染も予断を許さない状況です。この上は、三密を回避し、マスク着用、手洗い、うがいなどを励行し、自己防衛をするしかなさそう

です。このような状況下で今年度上半期は具体的な活動は自粛ムードでなにもできておりません。そこで今回は前理事長、長谷川昭次氏が提唱されたNPO法人千葉を美しくする会の憲章にも値するスローガンをお知らせしたいと思います。

- ① 自分を高める(高められる)
 - ・想像力が育つ・企画力が付く
 - ・実行力が付く・積極性が育つ
 - ・決断力がつく・勇気がわく
 - ・穏やかになる・明るくなるなど
- ② 他人を幸せにする(できる)
 - ・思いやり、労わり、親しさ、優しさ、譲る、手助けができるなど
- ③ 皆と楽しくする(できる)
 - ・連帯感が育つ・家庭、職場、

理事長 利 清二郎

会社、学校がよくなる
 ・地域がよくなる、国がよくなる、世界がよくなる、宇宙がよくなるなど

いずれ、必ず世界中の人間の英知により、新型コロナウイルスの厄災は収束いたします。その時まではエネルギーを蓄積し、満を持していつでも事業活動が開始できるようにしたいと思います。

どうか、皆様におかれましても、この苦境に手を携えて忍び、日々のご活躍をお祈り申し上げます。
 感謝



「高郷小学校を美しくする会」

参加報告

日本企画株式会社運用事業部

第一システム部係長 久松 貴広

第41回社員大会*は、千葉県船橋市立高郷小学校をお借りしました。開会式では、創立52年となる歴史のある小学校だと知り、どれだけやりがいのある掃除になるのか期待と不安が入り混じります。

今回私はリーダーを務める事になりました。自分がリーダーになった時に心掛けているのは、参加者の方々に、気持ちよく掃除をしてもらうと言う事です。それには時間配分や作業効率を考え、作業に集中して頂くための手助けをする事だと思っています。

実習が始まると、私の班は予定人数より少ない人数で開始となった事もあり、私は流し台を洗う事になりました。流し台に向き合ってみ

てびっくり！鏡と蛇口の間にかいクモとクモの巣が！普段ではありえない場所にいた訳ですが、さすが夏休みです。1か月も休みだとクモも出て来るのでしょう。リーダーとしては騒ぐわけにもいかず、処理しておきました。

最初は3名減で始まった私の班ですが、すぐに生徒と保護者の方が参加してくれました。生徒は小学4年生の男の子です。個室の掃除をお願いしたところ、生徒と保護者の方は交代でゴシゴシと掃除を行っておりました。その男子生徒を見ていると、最初は嫌そうに壁や周りを拭いているだけでしたが、最後の方は便器に手を入れて頑張っているのを見て、笑みがこぼれます。保護者の方も汗を拭

きつつ頑張ってくれました。

それにしても今回の社員大会は「暑い」の一言でした。普段は、3月末と9月末の為、涼しい日の方が多いくらいですが、今回は、8月31日ということもあり、ほんとに暑かったです！実習の最中は皆、汗まみれとなりましたが、いつも以上の暑さ対策があった事もあり、何事もなく無事終了できたので一安心でした。

社員大会*に参加いただいた方々、大変お疲れ様でした。



*日本企画株式会社では、社員大会と称して掃除に学ぶ会を開催しています。



船橋駅前周辺の 掃除に学ぶ

事務局 利 和則

NPO法人千葉を美しくする会事務局担当として3年が経過しようとしています。日頃は会員の皆様には大変お世話になり有難く深く感謝申し上げます。

掃除に学ぶ会とのご縁は平成5年5月からで、早いもので27年が経過しようとしています。鎌山掃除道を学び実践させて頂く事の深さは深遠のものと日々追及させて頂いています。

現在私達(4人のグループ)は船橋駅周辺の掃除をさせて頂いています。午前5時30分より開始して、約1時間の清掃活動ですが天候に左右されない週5日の活動となっています。駅周辺の早朝は通勤の皆様が慌ただしく動かれていて、掃除をしている状況がご迷惑にならないよう配慮しながら対応しています。

私の担当は、駅北口の2階部分の広場になります。(右下写真) バスから電車への乗り継ぎ、電車からバスへの乗り継ぎ、又、付近のお住まいの方々の電車への乗り継ぎで利用されている広場です。船橋駅周辺掃除は平成8年からで、その前は(平成5年より)西船橋駅周辺でした。船橋駅も西船橋駅も環境的にはほぼ似ていてゴミの種類は、たばこの吸い殻、紙屑、飲料水のペットボトル、缶類、等々です。雨上がりの時は傘の落し物等もあります。駅周辺は禁煙地帯ですが、たばこの吸い殻が多いのが気になる所です。時々若い方から喫煙所はないですかとの質問を受

けますが、禁煙地帯の為、ない旨を伝えるとがっかりしたような素振りで、立ち去ります。このように喫煙所の所在を尋ねる方は掃除をしている立場では、ほほえましく思いますが、無造作にたばこを口にくわえて掃除している私達の前を通行していく方は寂しく感じます。そのような方が吸い殻を落としているようです。



週5日の清掃活動の中で、曜日によってゴミの種類が違い、又、天候の内容によってもゴミの種類が違うという色々な変化があります。

休み明けの月曜日のゴミは駅前広場での飲食後のごみ(空き缶、ペットボトル、弁当空食べ残しのおにぎり)が多いです。



上の写真は、鳩たちが食べ残しのおにぎりに群がり周囲をきれいに掃除している一コマです。散らかした皆様にご覧いただき鳩たちへお礼を言ってもらいたいものです。

1日の駅前掃除に、約1時間の時間をかけさせて頂いていますが、資源ごみと燃えるごみに分別をして収集し、以下の写真のように買い物袋に纏めて社に持ちかえります。



最近の駅前掃除では、福岡掃除に学ぶ会代表世話人の富吉 袈裟右衛門氏からのラインメールを午前5時55分に頂いて、駅前掃除のシグナル(掃除時間の折り返し)にさせて頂いています。同志たちが同じように違う場所で早朝より頑張っていることで励みになります。

長い期間、凡事徹底の継続ができるのは、日々の色々な気付き(雨の日のほうきは、毛先の堅いほうきを利用するとか)や工夫(空き缶・ペットボトル入れはコンパクトな買い物袋)、そして周囲の皆様の温かいお声かけが頂けたお蔭と感謝させて頂いています。

明日も頑張っ参ります。



「駅前北口ロータリー2階広場の全景」2020. 6

教育現場における掃除と 教育の可能性

理事 長谷川 昭次



昨年、中央教育審議会は、学校における働き方改革の答申の中で、「学校の掃除は外部者やボランティアに任せ、できる限り教師に行わせないよう努めるべきである」と。この答申により、教育現場では混乱が生まれ、これまで積極的に掃除に取り組まれてきた学校も中止され、教師の協力や参加が少なくなってきました。(清風掃々35号巻頭言より)

掃除という物は答申に左右されて良い物だろうかと疑問に思うのです。

トイレのドアの破れ目

かつて私がS校の教頭になった時の事。夕方に父母が校長室へ来られる。聞く所によるとトイレで怪我をさせた子とさせられた子の父母との事。怪我はトイレへ逃げ込んだ子がトイレのドアの破れ目から伺っていた。追いかけて来た子が、細い棒のような物で突いた。伺っていた子の目を突いてしまったのだと言う。そのドアに穴は空いていた。直ぐ業者に依頼し修理してもらった。私も補修できる所は直して行った。

トイレ内の掃除道具の乱雑さもキッチンと掛け直せるように使い易いようにした。壁面の汚れも落としトイレ内の床の汚れも拭き取った。こうして20ヶ所程のトイレを綺麗にし、今迄とは一変させて行った。片や良く教え学ばせる授業の徹底も、先生方にしてもらった。

このような事を機に、先生方の結束が計られて行った。その結果或る教科の公開研究会を開催する運びとなった。研究主任は、研究経過と内容を大勢の参観者の前で臆する事もなく堂々と発表できた。反省会の席で、研究主任は涙を流し感極まって、感謝の念と達成感とを吐露したのでした。

窓に格子を

平成3年A校の校長として学校経営に当たる事となった。学校でトイレ内事故を起こしてはならないと、トイレの環

境の改善に力を尽くす。トイレを見ると薄いガラス一枚で外界と隣合わせになっている。子供達が床の水気で滑りガラスを破ったら、そのはずみで一気に外に飛び出してしまふ。それが3階だったら?!と思うと、ぞっとした。直ぐに格子を総てのトイレに取り付けて安全を確保した。

更にトイレ内の壁面、床、便器の掃除を行った。A校は教育委員会から研究指定を受けていた。生涯学習の研究である。今から何十年前の事。当時は生涯学習の授業はどのように指導すればいいのか、皆目見当が付かなかった。生涯学習の授業はどうすべきか。随分と指導主事の指導も受けた。幕張メッセの生涯学習フェスティバルにも参加した。地域住民と共に参加し良い授業のヒントを得ることもできた。こうして地域の方々も巻き込んだ公開研究会を開催する事が出来たのでした。教育委員会や各校の校長先生方や参観してくれた大勢の先生方の評判も上々でした。マスコミも取材に見えてくれたのでした。

学校の事故が激減する

平成5年はY校へ着任した。この学校でもトイレの中や作りに関心を持って経営して行った。古い校舎のせいと全体的に暗い。汚い。悪臭も漂う。明るい色のペンキを目の高さまで塗る。床を磨きガラスを拭き便器を綺麗にする。トイレを遊び場にして子供たちも居なくなった。或る時養護の先生が言ったものだ。『校長先生、学校の事故が3割も減りました。養護部会で発表します』と。

また、この学校の学級崩壊したクラスが良い授業の実施によって立ち直った例を挙げながら、授業について大いにアドバイスをして行った。この学校でも公開研究会を開催した。大勢の参観者が見えてくれた。そして、何よりも授業の質が高いという評判を頂けた事は、とても嬉しい事でした。

トイレと学年室の大掃除で

平成6年、T校へ着任。T校でもトイレの様子には目を向けた。校舎全体は良く見えるけれども、トイレはなぜか暗い、臭い。直ぐに明るい感じのペンキを塗る。蛍光管は新しくし、便器は奥まで磨く。

その頃先生方の間柄がギクシャクしていたり、一方災難が発生していたりしていた。先生方の居る学年室の床は埃が積もっている。その掃除を徹底する事によって、先生方の間柄は次第に良くなって行った。

10月の公開研究会に向けて、先生方の歩みは揃って行った。あるべき体育授業について毎日のように、先生方に話しかけた。公開研究会の案内には、授業の事について大いにアピールするようにした。当日の公開研究は大盛況で参加者で校庭はいっぱいになった。『校長先生、この分では来年の参加者は1000人くらいになりますね』と教頭先生。私もここまで良くできたものだと感極まる。

学校に取って公開研究会は、一大事業である。特に小中学校の公立学校に於いては、学校経営者なら一度は開催して見たいと思っているものなのである。それ程の公開研究開催を私は新たに着任する学校の度に可能にしたのでした。



それらを可能にしてくれたのは、掃除であったと思うのです。トイレの整備、美化、便器掃除であったと思うのです。もう一方で公開研究会開催の授業の事があったと思うのです。先生方が授業の力を付けて授業の質を高めていった事です。この授業の高まりと掃除の威力とが相まって、公開研究会を可能にしてくれたのだと思います。

それにしても、掃除の威力を低く見たり、ないがしろにしたりする事は、可能性への遮断を意味するものではないかと思えるのです。





令和二年1月～6月掃除に学ぶ会活動および支援状況

開催日	開催場所	実行委員長	世話人地区	参加人数
1月 4日(土)	麗澤大学	富田裕之	れいたく	6人
1月25日(土)	千葉県立成田国際高等学校	古 谷 健	印旛	81人
3月10日(火)	麗澤高校	富田裕之	れいたく	(活動自粛)
3月28日(土)	船橋市立大穴小学校	鈴木一重	日本企画	(活動自粛)
3月	旭市立琴田小学校	山本三男	山武	(活動自粛)
3月頃	茂原駅トイレ掃除	御園拓也	茂原	(活動自粛)
5月12日(火)	モラロジー研究所	富田裕之	れいたく	(活動自粛)
5月	旭市立干潟中学校	仁茂田祐基	山武	(活動自粛)
毎週水曜日	茂原駅周辺	御園拓也	茂原	(活動自粛)

令和二年7月～12月千葉地区掃除に学ぶ会実施予定

開催日	開催場所	実行委員長	世話人地区	備考
9月頃	茂原駅トイレ掃除	御園拓也	茂原	調整中
毎週水曜日	茂原駅周辺	御園拓也	茂原	

クイズ

出題 事務局 石渡裕太

次の防寒グッズの中で、保温効果が一番高いグッズはどれでしょうか。

①帽子 ②マフラー ③マスク

※正解と解説は、右枠内にあります。

【謎中垂対集例】

このクイズは、保温効果が高いグッズを選ぶ問題です。正解は③マスクです。理由は、マスクは顔の大部分を覆い、呼吸のたびに空気を暖め、また顔の熱を逃がさないからです。帽子やマフラーは、顔の熱を逃がさないようにしますが、呼吸のたびに空気を暖めず、顔の熱を逃がす可能性があります。

お知らせ

◆ご報告◆

新型コロナウイルス感染症の影響により、掃除に学ぶ会としての活動が大変厳しい状況にあります。このような時勢の中、ありがたいことに新たに習志野市にお住いの伊藤幸太郎様、船橋市にお住いの利哲平様、2名の方が正会員としてご入会頂きました。

事務局一同、厚くお礼申し上げます。

◆お願い◆

総会議事録上でご案内を致

しました通り会費振込の一応の期日を6月30日に設定させて頂きました。ありがたいことに今期も多くの正会員の皆様には期日内に会費の御振り込みを頂いております。しかしながら、一部の正会員の方からは会費を頂けておりません。中には、うっかり忘れてしまっている会員の方もおられるのではないのでしょうか。まだ、頂けていない正会員様には改めて、振込用紙を同封させて頂きました。

よろしく願いいたします。

編集後記

▲巻頭の理事長挨拶文の中にも取り上げられております、スローガンを改めて取り上げて見ます。▲鍵山相談役の提唱されます掃除の五徳は(一)謙虚な人になれる(二)気づく人になれる(三)感動の心を育む(四)感謝の心が芽生える(五)心を磨く、と。▲この掃除の五徳を具体的にどのようにしたら体得できるのか。個人個人の体験した事を発表し合い、互いに切磋琢磨し合う事によって、それは可能になる事であろう。発表の過程には当然懇親会の要素も入って来よう。▲このような切磋琢磨や懇親の為に、大きく背中を押してくれるものがこのスローガンであると思えるのです。(長谷川・利(和)・石渡)

お問い合わせ先

年2回発行(1月1日・7月1日)
 発行所 NPO法人 千葉を美しくする会
 発行責任者 利 清二郎
 編集責任者 長谷川昭次 編集担当者 利 和則

〒273-0005
 千葉県船橋市本町6-21-16(日本企画株式会社内)
 TEL: 047-426-0026 FAX:047-426-6071
 URL: <http://www.chiba-uthukushi.globs.jp/>